

文書番号 :

YASKAWA

受注番号 :

ご注文主 :

ご使用先 :

太陽光発電用 パワーコンディショナ納入仕様書

Enewell-SOL P3H 三相絶縁型

形 式 : CEPT-P3HA2010B JET 認証番号 : MP-0216
 CEPT-P3HA29P9B JET 認証番号 : MP-0217
容 量 : 三相3線式 高周波トランス絶縁型 200V 10kW/9.9kW

本パワーコンディショナを公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に適合する製品として使用される場合は、以下2点を守ってください。

- ・系統連系接続部の配線用遮断器の選定において、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)に準拠した機器単体の試験成績書が提出可能な配線用遮断器を選定してください。
- ・定格 NP に受注者名を記入してください。(別銘板でも可)

※本書記載の仕様は、予告なく変更する場合があります。

※適用ガイドラインおよび取扱説明書とあわせて確認し、正しく据付を行ってください。

改版履歴

改版 番号	年月日	担当	承認	ページ	内容
一	2025.11.7	林	今西	一	初版

1. 仕様

表1 パワーコンディショナの仕様

項目		CEPT-P3HA29P9B	CEPT-P3HA2010B
SPEC		SPEC:A	
入力部	最大許容入力電圧	DC600V	
	運転可能電圧範囲	DC150V～DC600V (起動電圧 200V 以上)	
	最大出力追従制御範囲	DC200V～DC570V	
	定格入力電圧	DC400V (注1)	
	入力許容電流	DC42A/MPPT, DC14A/回路 (注1)	
	最大短絡電流	DC57A/MPPT, DC15A/回路 (注1)	
	入力回路数	6回路 (1MPPT)	
出力部	電気方式	三相3線式	
	定格電圧, 周波数	AC202V (AC210/220/230V), 50/60Hz	
	定格電流	29.8A	30.1A
	定格容量	10.42kVA	10.53kVA
	最大出力	9.9kW (DC250V 以上, 力率 0.95 以上)	10kW (DC250V 以上, 力率 0.95 以上)
	定格出力	9.9kW (DC250V 以上)	10kW (DC250V 以上)
	定格力率	0.95 (注2)	
	最大効率	97.4% (注3)	
	定格効率	96.7% (個別入力端子使用時) (注4) (注5)	
		96.9% (一括入力端子使用時) (注4) (注5)	
出力電流歪み率	総合 5%, 各次 3%以下		
主回路方式	インバータ方式 (連系運転時)	自励式, 電圧型 電流制御	
	スイッチング方式	正弦波 PWM 方式	
	絶縁方式	高周波トランス絶縁	
	冷却方式	自然空冷	
FRT 機能	有		
力率一定制御機能	有 (注2)		
出力制御機能	対応 (注6)		
自家消費制御機能	有		
自立運転機能	有 (注7) (三相3線 200V 9.9kVA) (自励式, 電圧型電圧制御)	有 (注7) (三相3線 200V 10kVA) (自励式, 電圧型電圧制御)	
夜間系統監視機能	有		
夜間消費電力	約 11W (約 17VA) (注8)		
系統連系保護機能	系統過電圧, 系統不足電圧, 周波数上昇, 周波数低下 直流分流出防止, 並列時許容周波数 単独運転検出 受動: 電圧位相跳躍検出方式 能動: ステップ注入付周波数フィードバック方式 STEP3.2		
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> 誘導雷保護 (太陽電池入力部及び系統出力部にバリスタおよびアレスタを内蔵) 多機能入力 (OVGR 等の入力用) ・RS-485 通信 多機能出力 (異常等の出力用) ・日射計入力 (DC0~10mV) 温度計入力 (-40~100°C, Pt100, 3線式測温抵抗体) 		
環境仕様	使用場所	屋外, 屋内 (注9) (注10) (注11) (ただし, 直射日光, ガス, 塵, 埃の無い所)	
	周囲温度	-20°C~+60°C (注11)	
	湿度	25%~95%RH (ただし, 結露の無いこと)	
	標高	2000m 以下 (ただし, 1000m 以上では出力低減開始温度が低下します)	
	振動	10 ~ 57 Hz : 0.075 mm, 57 ~ 150 Hz : 1.0 G, 各方向 80 分 IEC61800-5-1 に準拠 (ただし, 設置場所は継続的または断続的に振動がかからないこと)	
絶縁抵抗	主回路-筐体間: 1MΩ 以上/500V		
耐電圧	主回路-筐体間: 2kV		
騒音	40dB (A) (正面 1m での A 特性) (注12)		
外装, 塗装色	アルミ製, 白色 (マンセル N9.5)		
寸法	W : 600mm, H : 540mm, D : 305mm		
質量	約 42kg		

(注1) 太陽電池の直列数は、太陽電池の最大出力動作電圧が 400V 程度となる直列数を目安に選定してください。
また、接続する太陽電池は、1回路あたり動作電流で 14A 以下かつ短絡電流で 15A 以下としてください。
過積載の上限は、太陽電池の短絡電流の合計で 57A 以下としてください。

(注2) 運転力率設定可能範囲: 0.80~1.00, 設定単位 0.01, 系統側から見て遅れ。

(注3) DC400V 入力, 力率 1, 一括入力端子使用。

- (注 4) DC400V 入力, 力率 1, JIS C 8961 準拠。
- (注 5) 出荷検査では、JIS C 8961 で定められた裕度に基づき 95.9%以上の効率であることを常温にて確認しています。
- (注 6) 経済産業省公布の省令に基づいた出力制御機能(狭義の PCS)に対応しています。
なお、電力サーバ等にアクセスする出力制御(広義の PCS)に対応するには、出力制御機器との接続が必要です。
- (注 7) 自立運転出力の並列運転はできません。パワーコンディショナ 1 台毎の独立負荷としてください。
- (注 8) 昼間(日射時)の交流電源からの電力消費はありません。夜間消費電力は一定であり、時間帯により変化することはありません。
- (注 9) 伝導性妨害と放射性妨害による電磁環境の影響が及ばないように、テレビ, ラジオ, その他電波障害を受けるおそれがある機器の近くへの設置は避けてください。
- (注 10) 保護等級は、IP55 相当。
- (注 11) 設置条件, 気象条件などにより、一時的に出力を抑制する場合があります。
- (注 12) 騒音値は当社測定による参考値です。実際の騒音レベルは設置環境や使用条件により異なる場合があります。

2. ブロック図

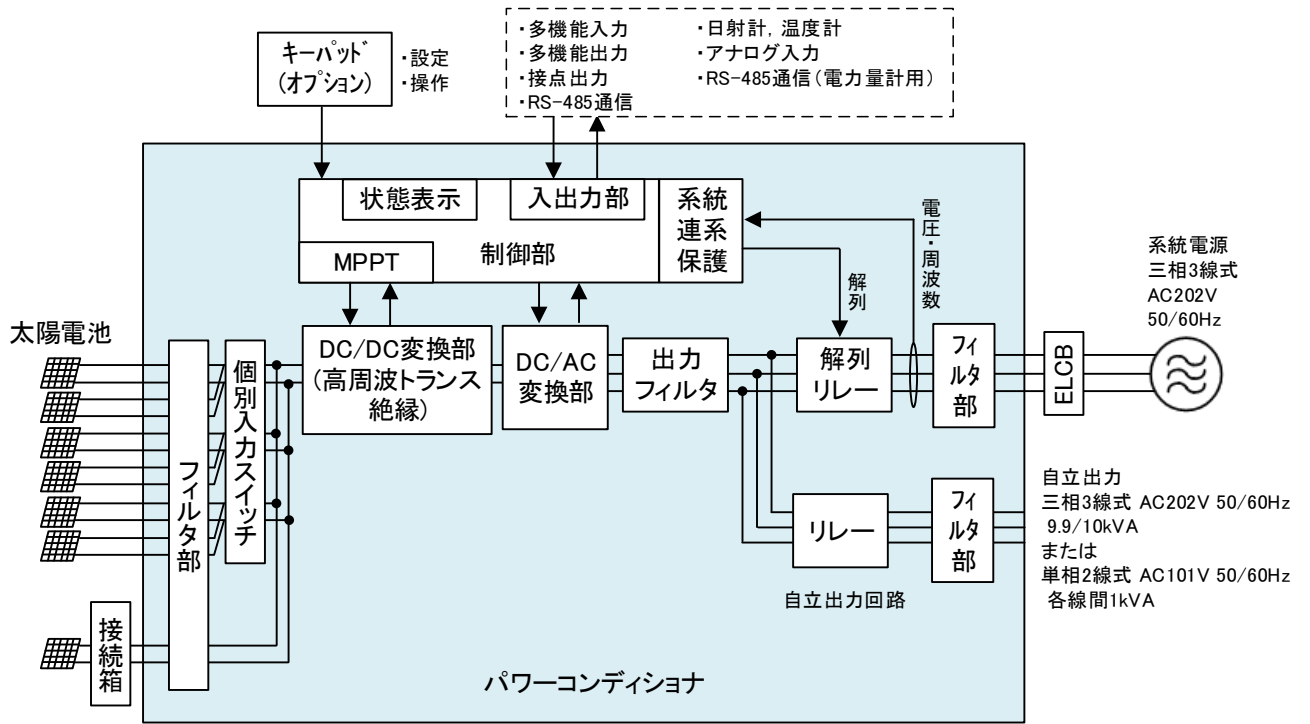


図1 パワーコンディショナブロック図

3. 主回路構成と制御回路端子

3. 1 主回路構成

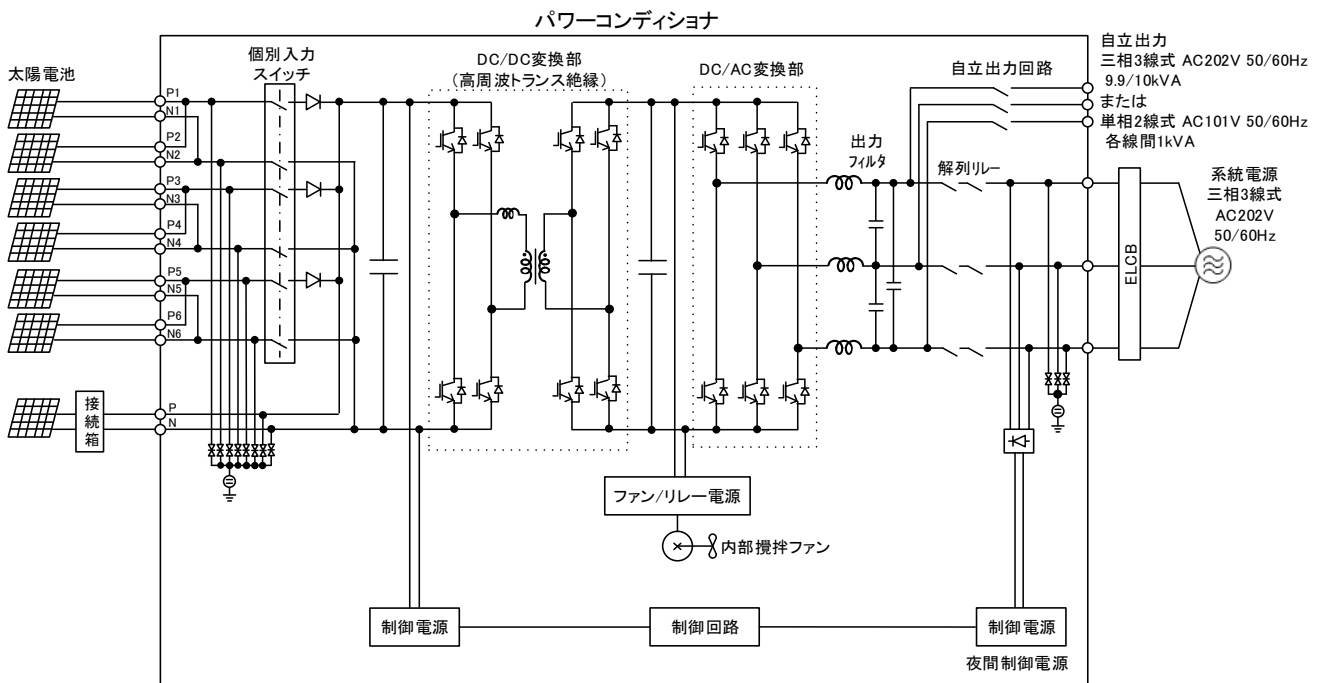


図2 主回路構成

3. 2 主回路端子

表 2 主回路端子一覧表

端子名称	端子記号	内容		備考
個別入力端子 (注 1) (注 2) (注 3)	P1	正極	入力回路 1	太陽電池からの配線を接続します。
	N1	負極		
	P2	正極	入力回路 2	
	N2	負極		
	P3	正極	入力回路 3	
	N3	負極		
	P4	正極	入力回路 4	
	N4	負極		
	P5	正極	入力回路 5	
	N5	負極		
	P6	正極	入力回路 6	
	N6	負極		
一括入力端子	P	正極	一括入力回路	接続箱からの配線を接続します。(注 4)
	N	負極		
系統連系出力端子	U	系統電源の U 相を接続します。		三相 3 線式
	V	系統電源の V 相を接続します。		
	W	系統電源の W 相を接続します。		
自立運転出力端子	R2	自立運転出力回路を接続します。		三相 3 線式 AC200V または 単相 2 線式 AC100V
	S2			
	T2			
アース端子	E	アース線を接続します		筐体接地用

(注 1) 太陽電池の直列数は、太陽電池の最大出力動作電圧が 400V 程度となる直列数を目安に選定してください。

(注 2) 接続される太陽電池回路は、同一の直列数としてください。

(注 3) 1 つの回路の太陽電池は、動作電流で 14A 以下かつ短絡電流で 15A 以下としてください。また、過積載の上限は、太陽電池回路の短絡電流の合計で、57A 以下としてください。

(注 4) 一括入力端子部のパワーコンディショナ側には、入力を遮断するスイッチはありません。点検時などに太陽電池からの入力を遮断するため、接続箱には逆流防止ダイオードの他、必ず配線用遮断器を備えたものを使用してください。

3. 3 制御回路端子

表3 制御回路端子一覧表

種類	端子記号	信号名	端子機能説明	信号レベル
多機能入力端子	S1	多機能入力1	<ul style="list-style-type: none"> ・操作指令 (運転/異常リセット) ・外部異常等から選択 	DC+24V 6mA フォトカプラ絶縁
	S2	多機能入力2		
	S3	多機能入力3		
	S4	多機能入力4		
	SC	シーケンス入力コモン		
多機能出力端子	M1	多機能接点出力	<ul style="list-style-type: none"> ・異常発生中等から選択 	ドライ接点 AC250V 10mA 以上 1A 以下 DC30V 10mA 以上 1A 以下
	M2			
	P1	多機能出力 P1		オープンコレクタ出力 DC+48V 50mA 以下
	PC	P1 用コモン		
	PA	多機能出力 PA		
	PAC	PA 用コモン		
アース端子	FE	シールド被覆線接続用	—	—
アナログ入力信号	Y1	日射計入力	日射計(直接入力)	DC0~10mV
	YG	日射計入力 GND		
	TA	測温抵抗体 A	温度計(直接入力)	-40~100℃ Pt100 3線式測温抵抗体
	TB1	測温抵抗体 B1		
	TB2	測温抵抗体 B2		
	AI1	アナログ入力1	日射計(外部トランスデューサ)	4~20mA (入力インピーダンス240Ω)
	AG1	AI1 用コモン		
	AI2	アナログ入力2	温度計(外部トランスデューサ)	
	AG2	AI2 用コモン		
RS-485 通信	D1+	RS-485 通信 D1+	RS-485 通信 : D1 (監視装置用)	RS-485 (半二重)
	D1-	RS-485 通信 D1-	(※) 遠隔出力制御は、この通信端子に接続します。	
	D2+	RS-485 通信 D2+	RS-485 通信 : D2 (PCS 間制御用)	
	D2-	RS-485 通信 D2-		
	DA+	RS-485 通信 DA+	RS-485 通信 : DA (電力量計用 : 潮流点)	
	DA-	RS-485 通信 DA-		
	DB+	RS-485 通信 DB+	RS-485 通信 : DB (電力量計用 : 総発電量)	
	DB-	RS-485 通信 DB-		

3. 4 適用可能電線サイズ

※推奨電線は、連続最高許容温度 75°C の 600V2 種ビニール絶縁電線です。また、周囲温度 40°C 以下および定格電流値での使用を想定しています。

※主回路の配線には、丸形圧着端子を使用してください。

※系統連系用の電線サイズは、配線長が長くなることを考慮して、できるだけ太い電線を選定してください。

配線長が長くなると配線抵抗が大きくなるため、パワーコンディショナの電圧上昇抑制が働き、発電低下の要因となります。

※RS-485 通信については、ノイズによる誤動作を防止するため、シールド付きツイストペアケーブル (KPEV-S 1.25mm² または相当品) を使用してください。

※多機能入力信号線および多機能出力信号線は、シールド付きケーブルを使用してください。

※電線加工時に発生する切りくずなどが、パワーコンディショナ内部に入らないようにしてください。

表 4 パワーコンディショナ本体の接続可能電線サイズ

端子名称	端子記号	ねじサイズ	適合圧着端子	接続可能電線サイズ (mm ²)	締め付けトルク (N・m)
個別入力端子	P1, N1~P6, N6	M4	R5.5-4	2.0~5.5	1.2~1.4
一括入力端子	P, N	M8	R22-8	14~22	5.5~6.6
系統連系出力端子	U, V, W	M5	R14-5	5.5~14	2.0~2.4
自立運転出力端子	R2, S2, T2	M5	R14-5	5.5~14	2.0~2.4
アース端子	E	M6	R14-6	5.5~14	3.9~4.9
制御回路端子	S1~S4, SC, P1, PC, M1, M2, D1+, D1-, D2+, D2-, FE	M3.5	R2-3.5	0.5~2	0.8~1.0
	Y1, YG, TA, TB1, TB2, AI1, AG1, AI2, AG2, PA, PAC, DA+, DA-, DB+, DB-	ねじなし端子台	—	0.3~1.25	—

4. 連系保護機能

表 6 連系保護機能一覧表

項目		検出レベル	検出時限
過電圧 OVR		初期値：230V 設定範囲：220～276V 設定単位：1V 検出相数：3相	初期値：1.0秒 設定範囲：0.5～2.0秒 設定単位：0.1秒
不足電圧 UVR		初期値：160V 設定範囲：160～200V(※) 設定単位：1V 検出相数：3相	初期値：1.0秒 設定範囲：0.5～2.0秒 設定単位：0.1秒
周波数上昇 OFR	50Hz	初期値：51.0Hz 設定範囲：50.5～52.0Hz 設定単位：0.1Hz 検出相数：1相	初期値：1.0秒 設定範囲：0.5～2.0秒 設定単位：0.1秒
	60Hz	初期値：61.2Hz 設定範囲：60.5～62.0Hz 設定単位：0.1Hz 検出相数：1相	
周波数低下 UFR	50Hz	初期値：47.5Hz 設定範囲：47.5～49.5Hz 設定単位：0.1Hz 検出相数：1相	初期値：2.0秒 設定範囲：0.5～2.0秒 設定単位：0.1秒
	60Hz	初期値：57.0Hz 設定範囲：57.0～59.5Hz 設定単位：0.1Hz 検出相数：1相	
自動電圧調整機能	進相無効電力調整機能	初期値：224V 設定範囲：200～280V 設定単位：1V	待機時間 200秒（固定）
	出力制御機能		
単独運転検出機能	受動的方式 電圧位相跳躍検出	初期値：8.0° 設定範囲：1.0～15.0° 設定単位：0.1°	0.5秒以内
	能動的方式 ステップ注入付 周波数フィードバック方式	検出要素：周波数変動 検出レベル：1.5Hz（固定）	瞬時
復電後の投入阻止時間		初期値：300秒 設定範囲：0～300秒 ※0秒設定時は、自動復帰無効。 設定単位：1秒	
並列時許容周波数	50Hz	初期値：50.1Hz，設定範囲：50.10～51.00Hz，設定単位：0.01Hz	
	60Hz	初期値：60.1Hz，設定範囲：60.10～61.00Hz，設定単位：0.01Hz	
周波数低下時の運転継続時間		0.97pu時(50Hzエリア：48.5Hz/60Hzエリア：58.2Hz)：連続	
		0.96pu時(50Hzエリア：48.0Hz/60Hzエリア：57.6Hz)：連続	

(※)パラメータ設定は207Vまで可能ですが、JET認証は200Vまでの範囲となります。

5. 出力制御機能

表 7 出力制御機能の仕様（狭義のPCS）

項目	仕様
出力制御設定範囲	0～100%（1%単位）
制御精度	定格出力の±5%以内
抑制指令値への移行時間（100%→0%）	1秒～600秒（1秒単位）
制御状態からの復帰時間（0%→100%）	1秒～600秒（1秒単位）
出力制御機器との通信遮断時のエラー表示	軽故障コード“CE3”をキーパッドに表示
通信遮断検出時間	通信遮断後5分以内

※経済産業省省令「再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法施行規則」（令和5年11月13日改正）に基づいた、出力制御機能（狭義のPCS）に対応しています。

6. 準拠規格

系統連系規程 JEAC 9701-2024 [2025年追補版（その1）]

7. 相互接続図

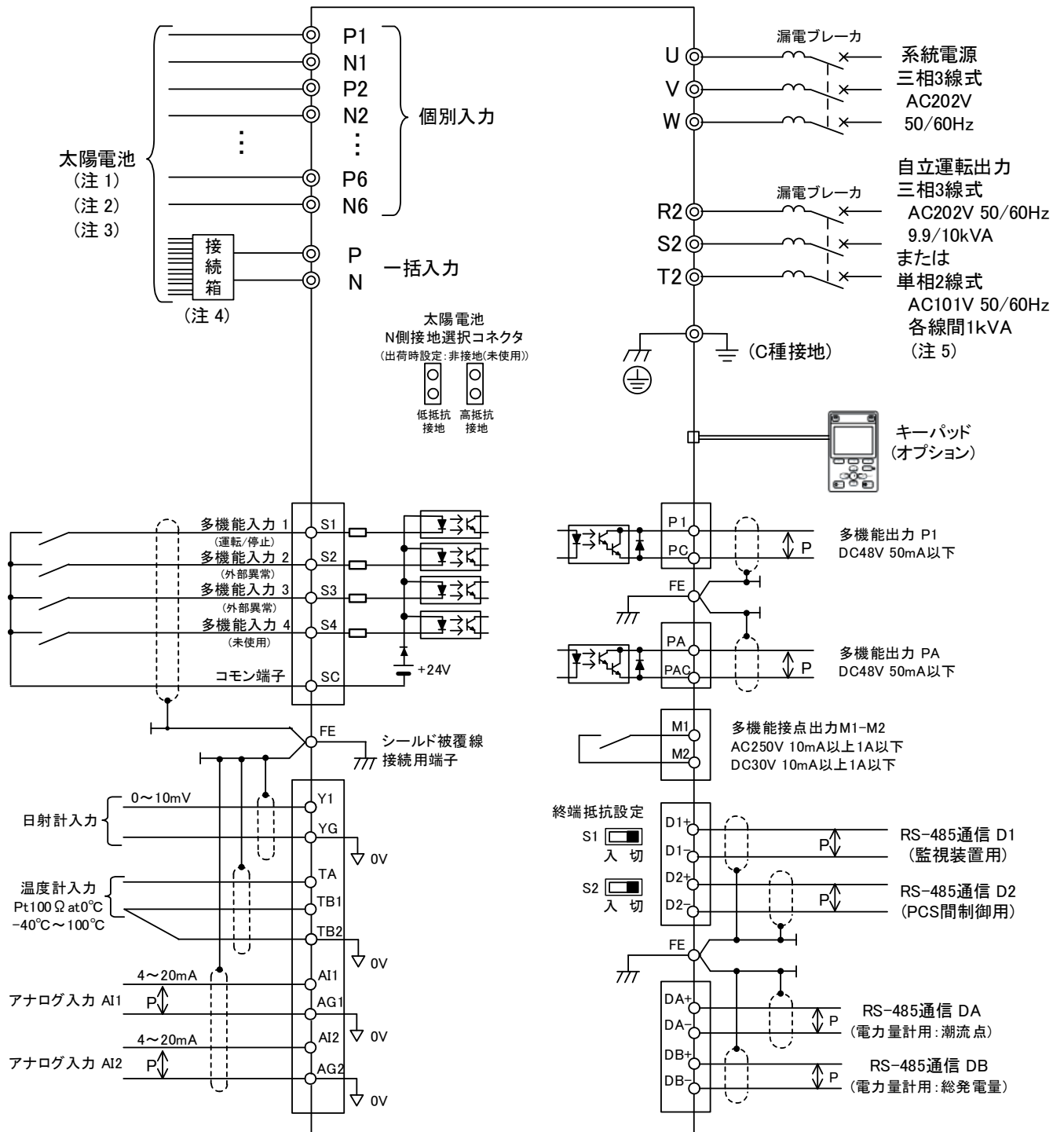


図3 相互接続図

8. 外形寸法と部品配置, 取付架台寸法

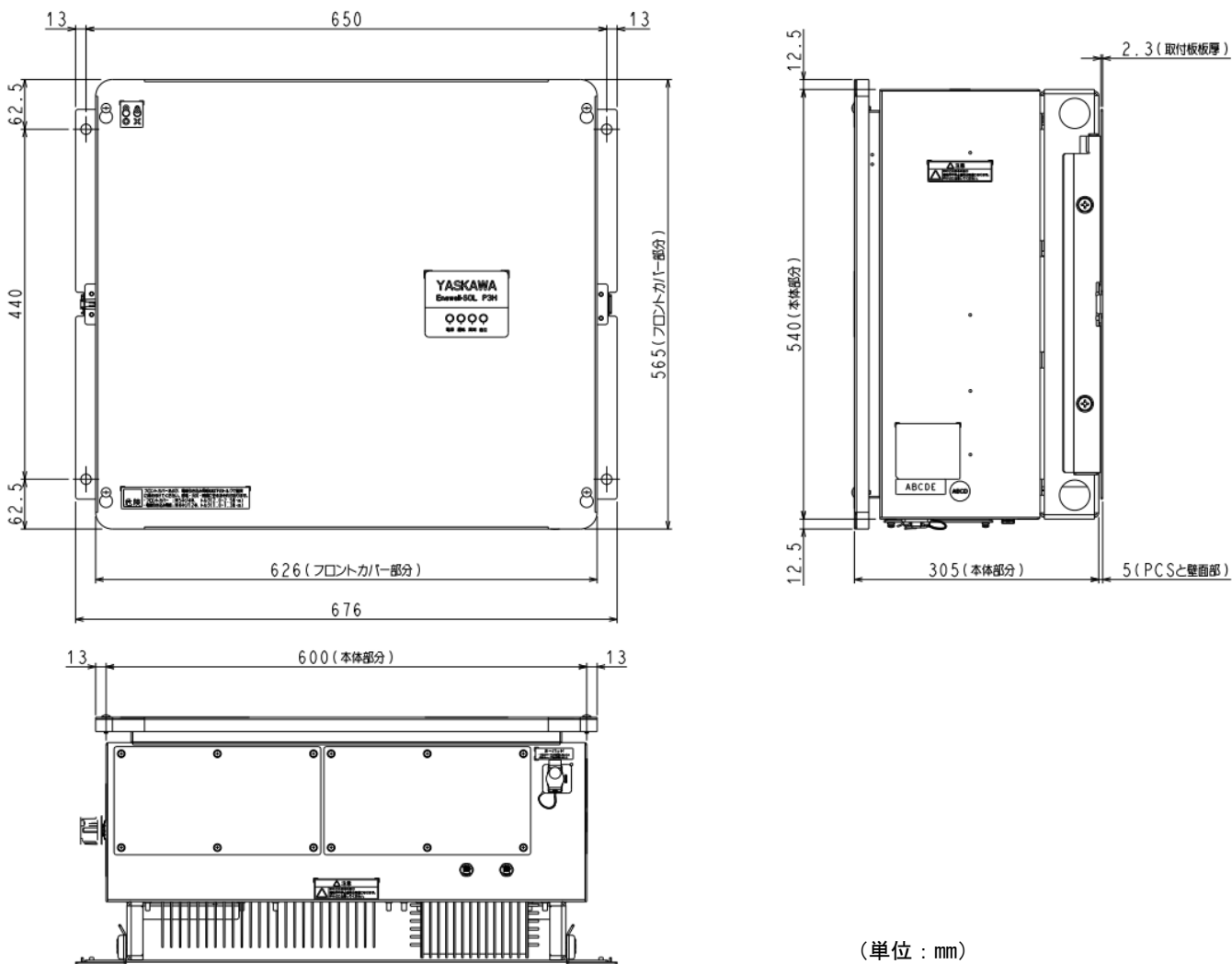


図 4 外形寸法

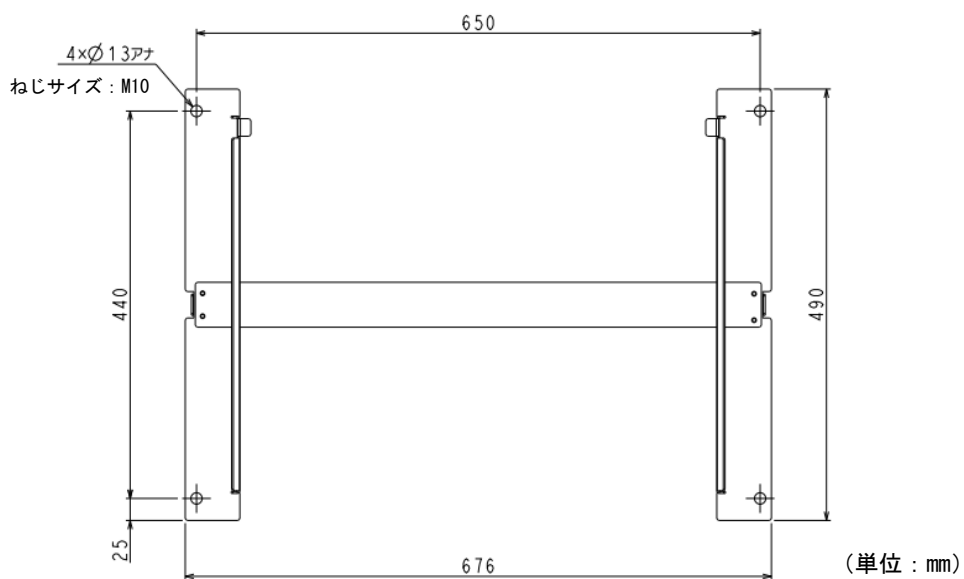


図 5 取付架台寸法

9. 単線結線図

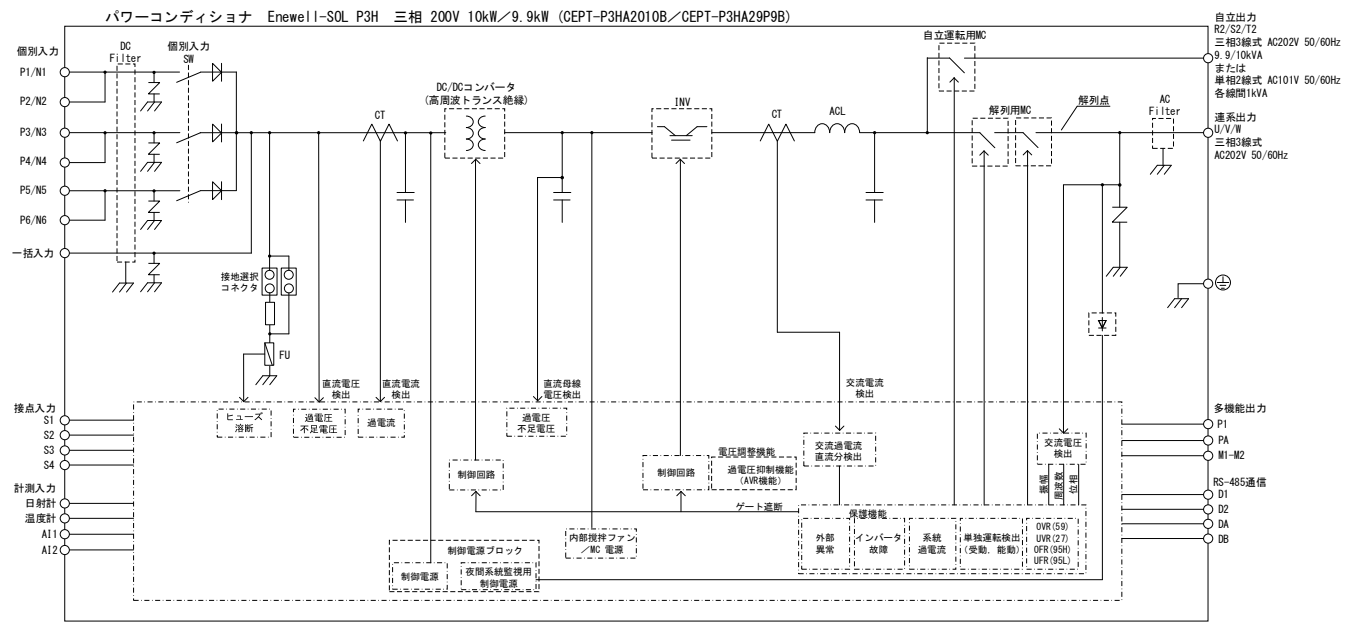


図 7 単線結線図

10. オプション

◆ キーパッド（形式：JVOP-KPLCA04AEA）

パワーコンディショナの初期設定を行う際に使用します。その他、運転状態の確認、運転／停止等、使用する際にパワーコンディショナへ接続します。

パワーコンディショナとキーパッドの接続には、接続ケーブルを使用し、接続ケーブルをパワーコンディショナ底面にある RJ45 コネクタ (防水キャップ付き) に接続します。

接続ケーブルは、以下に示す仕様のケーブルをご使用ください。

- ・ RJ-45 8pin ストレート結線
- ・ STP CAT5e ケーブル 1m, 3m

【重要】 接続ケーブルは、ストレートケーブルを使用してください。クロスケーブルを使用すると、キーパッド故障の原因となります。

(注1) パワーコンディショナ本体には、設定用スイッチ、設定値の表示機能等はありません。

初期設定の際に必要ですので、キーパッドと接続ケーブルを必要数準備ください。

(発電所 1 か所にキーパッド 1 つなど)

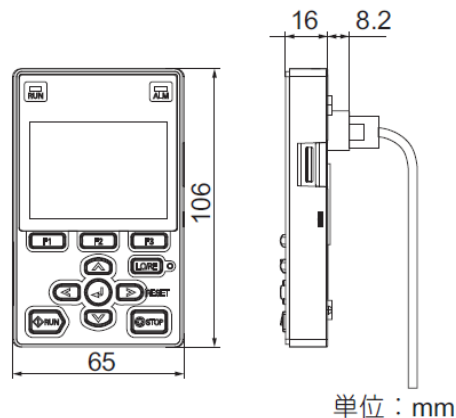


図8 キーパッド

◆ 10年保証（形式：EZZ025005A）

有償にてパワーコンディショナ本体の保証期間を10年間へ延長します。10年保証申込番号・発電所情報・製品のシリアル番号等の当社への申請・承認が必要です。

(注1) 10年保証は、パワーコンディショナ本体発注時、同時に手配してください。

◆ コモンバー（形式：EZZ025016A）（P極用、N極用 各3個同梱）

コモンバーは、個別入力2回路を1つの入力回路として使用できるようにするもので、太陽電池が、動作電流で14Aまたは短絡電流で15Aを超える場合に使用します。

コモンバーを使用する場合、パワーコンディショナの入力回路数は3回路となります。

適用可能な太陽電池：動作電流 28A 以下かつ短絡電流 30A 以下

◆ PV1000 置換アタッチメント（取付用架台）（形式：EZZ025014A）

P3Hの取り付け寸法は、PV1000(旧製品)に対して縦寸法が60mm小さくなっています。PV1000からP3Hへの置換えの際に、同梱の取付用架台の代わりに、PV1000置換アタッチメントを使用することで、PV1000の取り付け寸法から変更することなくP3Hを取り付けることができます。

◆ PVコネクタオプション（形式：EZZ025013A）

個別入力端子の接続をコネクタにするアダプタです。太陽電池からの配線をコネクタで接続する場合に使用します。

1 1. 保証について

◆ パワーコンディショナ本体

① 無償保証期間（基本保証期間）：1年間（詳細は「1 2. 保証規定」参照）

② 無償保証期間の5年間への延長（※）（注1）（注2）

発電所情報・製品のシリアル番号等の当社への申請・承認により、無償保証期間を5年間へ延長します。

当社への申請・承認がない場合、無償保証期間は1年間となります。

③ 10年保証（有償オプション）（※）（注1）（注2）

有償にて保証期間を10年間へ延長します。

10年保証申込番号・発電所情報・製品のシリアル番号等の当社への申請・承認が必要です。

当社への申請・承認により、10年保証が有効となります。

なお、当社出荷後6か月以上経過した10年保証申込番号は無効となり、再発行には原則として対応しておりません。10年保証申込番号は、10年保証申込番号連絡書にてご指定先へ送付されますので、受領後速やかに10年保証の申請を行ってください。

（※）製品登録（および保証登録）には、アカウントIDの登録が必要です（初回のみ）。

（注1）延長保証（②③）は、パワーコンディショナ本体が対象です。オプション品などの周辺機器は、対象外です。

（注2）延長保証（②③）の申請は、当社出荷後18ヶ月以上経過したパワーコンディショナ本体との組み合わせでは、原則として承認されません。

◆ オプションなどの周辺機器：1年間（延長保証はありません）

12. 保証規定

◆無償保証期間(基本保証期間)

貴社または貴社顧客殿に引渡し後1年未満、または当社工場出荷後18ヶ月以内のうち、いずれか早く到達した期間。上記期間を超える保証期間をご希望されるお客様は、別途、購入先へお問い合わせをお願いします。

◆保証範囲

■故障診断

一次故障診断は、原則として貴社にて実施をお願いいたします。

ただし、貴社要請により当社または当社サービス網がこの業務を有償にて代行することができます。この場合、貴社との協議の結果、故障原因が当社側にある場合は無償とします。

■故障修理

無償保証期間中の故障発生に対して、代品提供または技術員派遣での修理対応とし、対応方法については当社にて選択するものとします。代品(整備済み再生品を適用する場合有り)、製品の故障を修復させるための修理、現地出張は無償とします。

ただし、保証期間内であっても、次の場合は有償となります。

- ・ 戦争、外国からの武力行使、暴動、テロ行為およびその他の不可抗力により生じた故障・損傷
 - ・ 自然災害(暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、津波、地震、噴火、雷、地滑りなど)、火災など不可抗力による故障・損傷
 - ・ 販売時に実用化されていた技術では予防することが不可能な現象やそのことが原因で生じた故障・損傷
 - ・ お客様による輸送や移動時での落下または衝突など、不適切な取扱いによる故障・損傷
 - ・ お客様での不適切な保管による故障・損傷
 - ・ 代品への置換費用(クレーンなどの費用および作業費)、高所作業車・足場など安全対策が必要な場合の費用
 - ・ 故障品を当社へ返送する際の輸送費用
 - ・ 故障品が当社へ返却されない場合の製品代金
 - ・ 故意または不適切な維持管理、ご使用上の誤りまたは不適切な修理や改造による故障・損傷
 - ・ 取扱説明書の条件を満たさない不適切な設置、または使用上の不注意による故障・損傷
 - ・ 当社または当社サービス網以外で行った修理、改造による故障・損傷
 - ・ 接続された機器の異常による故障・損傷
 - ・ 本製品の適用範囲外での使用による故障・損傷
 - ・ 性能や機能に影響を及ぼさない経年劣化、または通常使用における自然な機械的磨耗(さび、かび、変質、変色、音、振動、傷、汚れなど)
 - ・ 岩礁隣接地域(海水が直接かかる場所)での設置による故障・損傷
 - ・ 糞害、ねずみ食い、虫食いなどの動物や昆虫などによる故障・損傷
 - ・ お客様または第三者の故意、過失による故障・損傷
 - ・ 故障・損傷のない場合での点検及び保守費用(お客様での保管後の点検等を含みます)
 - ・ 寿命品及び保守品の交換費用
(内部ファンなどの寿命品及び保守品の交換は有償となります。但し、基本保証期間を除きます。)
 - ・ 保証期間経過後にお申し出があった場合、または故障・損傷発生後、保証期間内にお申し出がなかった場合
 - ・ 梱包・くん蒸処理に起因する製品不良の場合
 - ・ その他、当社の責に帰さない事由による故障の場合
- 上記サービスは国内における対応とし、国外における故障診断、修理などをご容赦願います。

◆保証責務の除外

- ・ 保証対象となる故障・損傷・不具合での当社の責任は、当社製品の無償の修理または交換のみとします。
- ・ 無償保証期間内外を問わず、当社製品の故障・損傷・不具合に起因する貴社あるいは貴社顧客など、機会損失、逸失利益、当社製品以外への損傷、その他業務に対する補償や売電補償を含むいかなる損害賠償義務も負わないものとします。

◆本製品の適用について

- ・ 本製品は、太陽光発電システムにのみ適用し、他の用途(蓄電池システムなど)への適用はできません。また、人命にかかわるような状況の下で使用される機器、あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。
- ・ 本製品を、乗用移動体用、医療用、航空宇宙用、原子力用、海底中継用の機器、あるいはシステムなど、特殊用途への適用はしないでください。
- ・ 本製品は、厳重な品質管理の下に製造しておりますが、本製品の故障により重大な事故または損失の発生が予測される設備への適用はしないでください。
- ・ 本製品は、公称電圧 200V 級 三相 3 線式(灯動共用三相 4 線式の低圧三相配電線を含む)の電源系統以外には適用できません。

13. 塩害地域への設置

本パワーコンディショナは、塩害地域および重塩害地域でもご使用いただけますが、波しぶきが直接かかるような場所への設置はできません。

※機能・性能に影響しない範囲の腐食は、当社の保証範囲外となります。

<塩害地域について>

当社では、塩害地域の範囲について、下表のように定義しています。

表 8 塩害地域及び重塩害地域と設置可否

地域区分	塩分を含んだ水	潮風	飛来塩分濃度	パワーコンディショナの設置可否
一般地域	なし	なし	—	設置可能
塩害地域	なし	潮風が直接当たらないが、その雰囲気にある	通常は低濃度だが、気象条件により高濃度になることがある	設置可能
重塩害地域	波しぶきが直接かからないが、影響を受ける	影響を受ける	常時高濃度	設置可能
岩礁隣接地域	波しぶきが直接かかる	影響を受ける	常時高濃度	設置できません

表 9 塩害地域及び重塩害地域の目安

地域	海岸からの距離				
	～500m	500m～1km	1～2km	2～7km	7km 以上
瀬戸内海	重塩害地域(※1)	塩害地域	一般地域		
北海道・東北日本海側(※2)	重塩害地域(※1)		塩害地域	一般地域	
沖縄・離島	重塩害地域(※1)			塩害地域	
その他の地域	重塩害地域(※1)	塩害地域	一般地域		

※1 重塩害地域はトタン屋根、ベランダの鉄製部の塗り替えが多い場所が目安となります。

※2 北海道：松前町～稚内市、東北日本海側：青森県東通村～山形県鶴岡市

<塩害地域及び重塩害地域にパワーコンディショナを設置する場合の注意事項>

塩害地域及び重塩害地域にパワーコンディショナを設置する場合、設置環境によっては製品外観に部分的な腐食が発生する場合がありますので、以下のとおり注意してください。

- ・ 極力、直接潮風が当たらない場所(建物の沿岸と反対側など)に設置してください。
- ・ やむを得ず、海側方面にパワーコンディショナを設置する場合は、防風板を設けて、直接潮風が当たらないようにしてください。
- ・ 雨水による洗浄効果が損なわれない場所に設置してください。
雨水による塩分の洗浄は腐食防止の効果があります。
- ・ 海岸地帯に設置する場合は、定期的に水洗いを行ってください。
付着した塩分を除去でき、腐食防止の効果があります。
- ・ 機能・性能に影響しない範囲の腐食は、当社の保証範囲外となります。